

各務原市まちづくり活動助成金

令和元年度交付事業報告集



令和2年度交付事業一覧も掲載しています。

各務原市 市長公室 まちづくり推進課

〒504-8555 各務原市那加桜町1-69 TEL:058-383-1997

E-mail:machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

当報告集は
ウェブページからも
ご覧いただけます。



※掲載してある内容は、団体から提出された実施報告書類や団体へのヒアリングおよび取材をもとに作成しました。

令和元年度交付事業

スタート助成1年目 (NO. 1~8)				
No	事業名	分野	団体名	ページ
1	高齢者を対象にした ラジオ体操指導普及活動事業	スポーツ振興 保健・医療・福祉の増進	各務原市ラジオ体操連盟 健康増進部会	4
2	2019 親子で Let's アウトドア! 事業	子どもの健全育成 社会教育の推進	みっばらキッズ	5
3	みんなで取り組む 産後ケア事業	保健・医療・福祉の増進 子どもの健全育成	カーネーション	6
4	世代間交流 ワークショップ事業	まちづくりの推進 芸術振興	リョクエンナーレ 実行委員会	7
5	災害時に備えた 炊き出し訓練事業	災害救援 地域安全	鶯沼南町自主防災組織	8
6	性と命の多様性の 大切さを『伝える』事業	保健・医療・福祉の増進 子どもの健全育成	多文化共生コミュニティ いきる	9
7	みばらママ 子育てママの お役立ち窓口を開設事業	情報化社会の発展 子どもの健全育成	縁結びハピママ	10
8	縁結びマルシェ事業	まちづくりの推進	えんまる	11
まちづくり助成1年目 (NO. 9~13)				
9	防犯パトロール活動事業	地域安全	清住町 ふるさと創生会	12
10	鶯沼山崎町伝統文化の継承と 地域住民の連携強化事業	文化振興 まちづくりの推進	山崎区 屋形保存会	13
11	元気なシニアがいきいき暮らす! プロジェクト事業	保健・医療・福祉の増進 まちづくりの推進	人生これから!	14
12	地域で子育て応援 フェスティバル事業	保健・医療・福祉の増進 子どもの健全育成	みんなのいえ つなぐ	15
13	病に負けない元気な こころとからだ作り事業	環境の保全 子どもの健全育成	つくろ!の会	16

スタート助成 2 年目 (NO. 14)				
No	事業名	分野	団体名	ページ
14	こころとからだの安らぎをサポートする事業	まちづくりの推進	松が丘ゆったりクラブ	17
まちづくり助成 2 年目 (NO. 15~16)				
No	事業名	分野	団体名	ページ
15	新加納地区の文化・歴史遺産を次世代に継承する事業	文化振興	中山道間の宿 新加納まちづくり会	18
16	監督はキミだ！各務原市の魅力を再発見☆わくわく映画制作ワークショップ事業	観光振興 まちづくりの推進	各務原市全国まちおこし 映画祭実行委員会	19

各務原市まちづくり活動助成金

各務原市は、市民の皆さまがまちづくりの主役としてご活躍していただくことで「市民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくり」の実現を目指しています。

こんな場所が
あったらいいな

困っている人の
力になりたい！



この地域課題に
みんなで
取り組みたい

いまの活動を
もっと広く
役立てたい！



各務原市まちづくり活動助成金とは

この助成では、市民の皆様が知恵を出し合い、力を合わせて地域の課題解決をする「市民によるまちづくり活動」の促進とNPOや市民活動団体の成長を目的に団体が行う活動や事業に要する経費の一部を、予算の範囲内で助成するものです。

まちづくり活動とは・・・

まちづくり活動とは、広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行っている公益的な活動をいいます。まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその成果を実感できます。

まちづくり活動助成金の種類・条件等

- ・助成金には2種類あり、団体の設立年数(助成を受ける年の4月1日基準日)で決まります。
- ・申請できるのは、年度内に1団体1事業1回までです。

① スタート助成 まちづくり活動を通じて、団体の設立や自立を目指します			
設立年数		設立後3年未満の団体	
審査方法		書類審査	
		1年目	2年目
助成金額	助成率	助成対象経費合計の2/3以内	助成対象経費合計の1/3以内
	助成金限度額	100,000円	50,000円
	※上記及び総事業費から事業の実施に伴って得られる国または県補助金、利用料金その他収入を控除して得た額を比較し、一番少ない額が助成金額です。(千円未満端数切捨て)		
注意事項		スタート助成を受けた場合は、当該助成事業の完了年度の翌年度はまちづくり助成を申請できません。	

② まちづくり助成 まちづくり活動を通じて、課題解決する団体への更なる成長を目指します			
設立年数		設立後3年以上の団体	
審査方法		書類審査、公開プレゼンテーションによる審査	
		1年目	2年目
助成金額	助成率	助成対象経費合計の2/3以内	助成対象経費合計の1/3以内
	助成金限度額	300,000円	150,000円
	※上記及び総事業費から事業の実施に伴って得られる国または県補助金、利用料金その他収入を控除して得た額を比較し、一番少ない額が助成金額です。(千円未満端数切捨て)		
注意事項		別事業で申請する場合またはスタート助成を受けた場合は、当該助成事業の完了年度の翌年度は申請できません。	

【参考】令和2年度のまちづくり活動助成スケジュール

まちづくり活動助成金 申請・審査の流れ		まちづくり活動助成金 交付決定後の流れ	
令和元年10月	助成金説明会	令和2年4月	交付決定・交付事業開始
令和元年12月	申請書類受付	令和2年11月	中間報告書類提出
令和2年2～3月	書類審査	令和3年1月	公開報告会
令和2年3月	公開プレゼンテーション(発表は、まちづくり助成1年目のみ) 採択・不採択通知	令和3年3月	実施報告書類提出 (提出締切日は事業によって異なりますのでご確認ください)

※助成金説明会・申請書類受付時期は変更になる場合があります。翌年度の募集についてはご確認ください。

NO.1	団体名	各務原市ラジオ体操連盟健康増進部会		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 高齢者を対象にしたラジオ体操指導普及活動事業			
事業概要	高齢者の多くの人たちに、幅広く正しいラジオ体操を指導することによって、さらに地域に広がるような活動を行うこと			
事業費総額	162,099 円	助成金額	100,000 円	
主な経費内容	インカムマイク・ラジカセット、指導者講習会参加旅費、資料コピー代、チラシ印刷代、ユニフォーム代、クリアポケット代、傷害保険料、通信費、会議室利用料、講習会会場使用料			

●実施内容

①チラシの配布

シニアクラブ会合で市内 140 のシニアクラブにチラシを 4 枚ずつ配布した。

②指導者育成講習会に参加

6/30 岐南町体育館で開催された NPO 法人ラジオ体操連盟主催の春季ラジオ体操指導者講習会に 5 人が参加した。

③高齢者の集まりに出前講座を行い、ラジオ体操指導を行った。

- ・10/25 那加一地区社会福祉協議会主催の「お年寄りを囲む会」
(ラジオ体操第1の立位・座位を指導。参加高齢者 108 人)
- ・1/10 那加二東部地区社会福祉協議会「健康づくり教室」
(ラジオ体操第1・みんなの体操を指導。参加者 40 人)



●成果

- ・合計 148 人の高齢者にラジオ体操指導を行うことが出来た。
参加した高齢者からは、「正しい動きを知ることが出来た」「効果があることが分かったので、ラジオ体操を継続していきたい」といった声をもらうことができた。
- ・事業で行ったラジオ体操指導の様子を見て、他でも講座開催が期待できるようになった。
- ・協力指導者 3 名が、高齢者を対象にしたラジオ体操指導普及活動に参加してくれることになった。

●団体の活動目的・目標

皆様にラジオ体操の良さを知っていただくと共に、地域でまとまって活動できる組織作りに努める。また、各務原市民に広くラジオ体操の普及・指導を行う。

NO.2	団体名	みっぱらキッズ		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 2019 親子でLet's アウトドア！事業			
事業概要	子供とその保護者が参加できるアウトドアイベントを各務原市民公園にて開催する			
事業費総額	172,410 円	助成金額	100,000 円	
主な経費内容	講師謝礼、ボランティア交通費、チラシ印刷代、クラフト材料、アウトドア食材費、テントレンタル代、パイプ椅子・机レンタル代、傷害保険、チラシデータ作成・発送委託費			

●実施内容

12/14 10:30~15:00、各務原市民公園にて、年少～小学校6年生を対象に身近な自然を活用したアウトドアイベントを開催した。

- 【内容】①ウッドペンダントづくり ②竹箸作り ③ネイチャーゲーム
④スポーツ鬼ごっこ ⑤アウトドア食作り体験 ⑥ダンボール競争



●成果

・52人の親子(内、子供32人)の参加があった。

・子どもからの声として「竹箸づくりなど初めての体験をすることができた」とあり、子どもたちが自然遊びの楽しさを知り、自然を大切にする姿がうかがえた。

・スポーツ鬼ごっこなど集団での遊びにより、学校学年関係なく楽しく過ごす姿をみて、子ども達同士が関わり合える、学校や家以外の居場所を提供することができたと感じた。

・親御さんからの声として、「家庭ではなかなか体験させられない。マシュマロが焦げる様子で、目に見えなくても火がついていることを認識させてあげられていい機会になった」とあり、親子で普段できないようなコミュニケーションや教育につなげることができた。

●団体の活動目的・目標

青少年に対する「野外指導」「スポーツ指導」を中心とした“あそび教育”を通して、「自立力」「自律力」「行動力」「協調性」といった“たくましく生きる力”を備えた青少年を育み、未来の日本を担う人材の育成に寄与することを目的とする。

NO.3	団体名	カーネーション		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> みんなで取り組む産後ケア事業			
事業概要	取り組む産後ケアで、産後に必要な知識と体力をつけ、ママになった人生を再構築し、笑顔で子育てができる力を育てていきます。産後ケアを受けることにより、ママの心と身体に余裕ができることで、育児ノイローゼ・鬱の減少、虐待防止、離婚率の低下、少子化対策、医療費削減、女性労働力の向上などを目指します。また、講座を通して自己啓発や仲間作りの場の提供をしていきます。			
事業費総額	132,656 円	助成金額	88,000 円	
主な経費内容	講師謝礼、チラシ印刷費、事務用品、講座材料費、会場使用料			
<p>●実施内容</p> <p>①産後ケア体験会 4/23・5/30 陵南福祉センター 参加者計 14 人 バランスボールを使った産後の体力を養うエクササイズ、正しい姿勢と肩こりのセルフケアを実施</p> <p>②抱っこ紐勉強会 6/25、陵南福祉センター、参加者 8 人 赤ちゃん和妈妈に負担の少ない、正しい抱っこの仕方を学び、抱っこ紐を体験した。</p> <p>③離乳食にも使えるパン作り講座 9/24、総合福祉会館、参加者 21 人 離乳食で悩むママに向け、安心安全な材料で簡単に作れるパン作りを学んだ。</p> <p>④ルーから作るカレー作り講座 10/15、総合福祉会館、参加者 31 人 アレルギーに対応できるように、小麦粉と米粉の 2 種類のカレー作りを学んだ。</p> <p>⑤産後のおっぱいトラブル講座 11/14、陵南福祉センター、参加者 11 人 産前産後のおっぱいのトラブル(授乳の仕方や乳腺炎など)について学んだ。 参加者から事前にアンケートを取得し、その内容に沿ってアドバイスを受けた。</p>				
<p>●成果</p> <p>参加した方からは、「久々に運動ができた。」「子連れで参加できるので良かった。」「子育てに必要なことが学べて良かった。」「他のお母さんと交流ができて良かった。」などの声をいただいた。 講座を受講後、シェア会を開いてくださる方、講師の方と繋がり自ら学びに行かれる方など多数いらっしゃり、取り組む産後ケアということにアプローチできた。また、活動を通して、困っている人と助けてくれる人との橋渡しができた。</p>				
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>産後に必要な知識と体力をつけるため、自ら取り組む産後ケアで、ママになった人生を再構築し、笑顔で子育てができる力を育てていきます。産後ケアを受けることにより、ママたちの心と身体に余裕ができることで、育児ノイローゼ・鬱の減少、虐待防止、離婚率の低下、少子化対策、医療費削減、女性労働力の向上などを目指します。目標は行政と連携し、各務原市の全ての女性が「産後ケア」を受けられるようになることです。</p>				



NO.4	団体名	リョクエンナーレ実行委員会		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 世代間交流ワークショップ事業			
事業概要	子供からお年寄りまでの各世代が気軽に参加できるワークショップを8月下旬に、その後作品展示を「ふらっと」及び緑苑小学校で開催する。			
事業費総額	190,427 円	助成金額	100,000 円	
主な経費内容	講師料、講師交通費、チラシ印刷費、事務消耗品費、ワークショップ材料、ボランティア傷害保険、ワークショップ備品レンタル料、チラシデザイン委託費、マグカップ焼成代金			
<p>●実施内容</p> <p>1. 光る風鈴ワークショップ 6/3 緑陽中特別支援学級 13 人 7/17・18 緑苑小 3・6 年生 50 人 (自治会「夏祭り」での展示準備も行ったが、台風接近のため「夏祭り」は中止になった。)</p> <p>2. ソープカービング体験講座 7/23・24 緑苑小「夢広場」、18 人 (中学生 1 人・一般 17 人)</p> <p>3. 型染でコースター作り 7/30 緑苑小「夢広場」、12 人 (小学生 9 人・一般 3 人)</p> <p>4. オリジナルマグカップ作り 8/1 緑苑小「夢広場」、20 人(小学生 20 人)</p> <p>5. 「宝物展」での作品展示 8/28・29・30 緑苑小学校で①～④の作品を展示</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">       </div>				
<p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的な自治会業務では為し得ないことを側面的に支援し、元気で明るい地域づくりを目指す社会福祉活動を盛り上げることができた。 ・自治会「夏祭り」の一翼を担ったことで、自治会にも「リョクエンナーレ」が認知された。同様に「まちかど会議」で活動のプレゼンテーションをしたため、翌年からは距離が縮まっていくように思う。 ・団地内ですれ違った小学生やPTAからも挨拶をもらうことができる関係性が築けた。 ・親子ワークショップが休日開催できず、思うように成果が上がらなかったが、小学生保護者の実態が把握できた。 ・初年度で外部講師に頼った部分があったが、委員からは積極的に団体内のマンパワー発掘を目指す機運が生まれた。 				
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>緑苑地域の高齢化が著しく進み、活気の減少、魅力低下が深刻な問題と思われるので、緑苑内に活気を呼び起こす取組を行う。</p>				

NO.5	団体名	鵜沼南町自主防災組織		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 災害時に備えた炊き出し訓練事業			
事業概要	自主防災組織の活動として、地震に伴ってインフラが破壊された時にガスや電気に頼らない炊き出しが出来るような態勢を準備するため、薪を用いた炊き出しが出来るように幅広い住民を対象に訓練を行う。			
事業費総額	153,521 円	助成金額	100,000 円	
主な経費内容	炊き出し訓練食材費、炊き出し訓練消耗品費(食器・たわし・手袋・味噌澆し等)、羽釜蓋付きセット2セット、羽釜用かまど2個、鉄板2枚			

●実施内容

12/8 9:00～14:00、炊き出し訓練を実施した。

- ・市役所防災対策課から防災講座(クロスロードゲーム)
- ・薪を熱源とした炊き出し訓練(白飯、豚汁、焼き肉・焼き野菜)
- ・子供たちにはマッチで火をつける練習、包丁を使った柿の皮剥き

(訓練に先立ち、5月の地域自主防災訓練時に炊き出し訓練の練習を自主防災組織委員で実施した。)



●成果

事業を実施した結果、参加した小学生とその親及びシニア層に自主防災活動の重要性を認識してもらえたと理解している。これを連年続ければ参加した人の分だけ理解が広がっていくことになる。

また防災講座について、炊き出し訓練の参加者だけではなく子ども会全部が受講できるよう別の機会に実施した方が良い、との提言も貰えた。防災意識の浸透と広がりを目指す意識の共有が出来た事例として貴重である。

今回は事業を自主防災組織の側から発信するのみで、一般参加者は謂わば“お客様”であったが、事業の組み立ての段階から子ども会など他の組織と話し合っ進めて行く事により、さらに幅広い活動にして行ける素地が出来たと考えている。

●団体の活動目的・目標

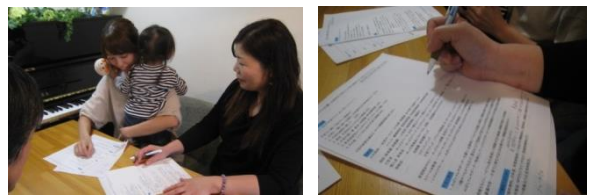
鵜沼南町に限らず、多くの地域の自治会では形式的に自主防災組織を備えているが、実態は1年交代の自治会長や班長によって構成されており、蓄積された経験に基づいた防災活動が出来るものとはなっていない。そこで、1年交代ではなく継続して活動できる組織を設立した。災害時に慌てず実際に活動できる組織を目指すとともに、日常的に防災意識の向上を図る。

NO.6	団体名	多文化共生コミュニティ いきる		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 性と命の多様性の大切さを『伝える』事業			
事業概要	子どもから大人までが性と命の多様性について学び考えられる会を、各年代7回に分けて開催し、その後、意見交流会を1回開催する。			
事業費総額	330,546 円	助成金額	100,000 円	
主な経費内容	講師謝礼、チラシ印刷代、事務消耗品代、参加者の傷害保険、郵送切手代、会場使用料、チラシデザイン委託料、託児委託料、ボランティアスタッフ人件費			
<p>●実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あなたはあなたのままでいい」講演会…6/29 10:00～12:00 那加福祉センター 参加者 47 人 保護者を対象に「いのち」について親子で考えるきっかけとなる講座を行った。 ・年齢別のいのちの授業…7/20 高校生、8/17 中学生、9/21 小 5～6 年、10/13 小 3～4 年、 11/9 年中～小 2 年、12/8 大人向け。那加福祉センター 参加者計 293 人 ・DV・デートDV講演会…1/19 10:00～12:00 那加福祉センター 参加者 22 人 廣瀬直美氏を講師に迎え、DV勉強会・意見交流会を実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>				
<p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親や子どもの周りの大人が正しい知識を学ぶことで声掛けの仕方を知り、子育てのストレスが軽減し、虐待や鬱による社会からの孤立を防ぐ一助となった。 ・参加者から、子どもが正しい知識を学ぶことで「見守ってあげたい」「違っていいと知った」など違いを認め、多様性を知ったなどの意見があった。 ・年齢に応じた正しい知識を学び、『生き方』を学ぶことで、「友達にも教えたい」「夫婦の価値観の違いを認められた」「自分もこうやって生まれてきたんだと知った」などの参加者の声から自分も命をつなぐ大切な存在であることを受け止められる心をはぐむことができた。 ・自分を大切にするように相手を大切にすることを学ぶことで、「私は奇跡」「俺って大事」などの参加者の声から自己肯定感を上げることができたと考える。 ・参加者同士で悩みを共有し合うことで知り合いが増え、安心して子育てができる環境があると知り、市の好感度を上げることに貢献できた。 				
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>親子で命や性の大切さを学びや食体験の事業を行うことで、自己と他の違いを受け入れ、自ら考え行動できる自立した人間作りと、家庭力の向上を目的として子育て中のお母さんを中心に活動する。</p>				

NO.7	団体名	縁結びハピママ		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> みばらママ 子育てママのお役立ち窓口を開設事業			
事業概要	各務原市在住の子育てママのための情報サイトを立ち上げ、ママが知りたい情報窓口を提供することで子育てを楽しく感じてもらい、各務原市で子育てしやすいまちを目指す。			
事業費総額	151,790 円	助成金額	100,000 円	
主な経費内容	登録QRコードステッカー、募集チラシ作成費、店舗設置チラシ作成費、事務消耗品費、ホームページ作成費			

●実施内容

- アンケート・・・【内容】「子育てに関して知りたい情報は？」
【対象】20～30代子育てママ 180人
- 取材と視察・・・【取材】8/31 子育てフェスタ 2人
【視察】8/5 各務原市中央図書館 3人
- ホームページ作成
・・・【URL】<http://miparamam.main.jp/>
【掲載件数】3月時点掲載記事 5件
- LINE公式アカウント作成・・・【ID】@354jmjgz
【登録者数】3月時点 35人
- 周知活動・・・【チラシ配布】1000枚
【登録カード配布】1500枚
【ステッカー】100枚
【広報先】市内ラック
子育て支援事業所
市内近隣カフェ



●成果

- ・サイト構築の中で、子育て中の母親から、「どこにいても簡単に情報を取得したい」「情報が掲載されたら利用したい」という声が多くあり、需要が確認できた。
- ・「子育てに関して知りたい情報は？」というアンケートを取得した結果、回答で上位(25%)となった「子供と一緒に遊べる場所・子供連れOKの飲食店など」に重点を置き、サイト構成を決定した。
- ・アンケートや会議の結果、サイトが子育ての悩みなどに対する解決の糸口となるよう、子育ての専門分野の情報を広げていくことが今後の課題であると把握することができ、次年度以降には産婦人科の先生や保育士・幼稚園教諭、助産師、食育インストラクターなど、各専門分野のスペシャリストにコラムを依頼する計画を立てることになった。

●団体の活動目的・目標

子育て中の保護者への役立ちサイトを通して、子育て中の孤独感、悩みを解消し、楽しく子育てが出来る環境を提案していく。

NO.8	団体名	えんまる		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 縁結びマルシェ事業			
事業概要	「人・アート・農・食・音楽」がにつながるイベントを開催。ふれあいとにぎわいを創出し、市民アーティストを応援します。また、「むかしの遊び」とおして三世代交流をはかり、地域コミュニティを活性化します。			
事業費総額	101,647 円	助成金額	17,000 円	
主な経費内容	事務消耗品、チラシ印刷費、資料郵送代、会場使用料、看板製作費、出演団体謝礼、お楽しみアンケートお菓子代、全体ミーティングお茶代、弁当代			
<p>●実施内容</p> <p>「縁結びマルシェ」を開催した。 日時:9/22 11:00~17:00 場所:手力雄神社境内 参加者:来場者 366 人、スタッフ 15 人</p> <p>【音楽ブース】 キッズダンス発表 雅楽の演奏 太鼓の演奏 お楽しみ抽選会を実施</p> <p>【マルシェ】 23 ブース出店。 市内外の事業者が食品・小物販売、サービス提供を行った。 ※申し込みは 28 ブースであったが、台風接近により当日 5 ブースが出店を取りやめた。</p> <p>【子ども遊び】 昭和時代の紙芝居・けん玉・竹馬を体験できる場を提供し、世代間交流を促した。</p>				
<p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども遊びブースでは、竹馬でお子さんが遊びパパママやシニア世代と一緒に楽しく交流出来る場となった。紙芝居や竹馬などの昭和の遊びを知らない世代の子どもたちが楽しく遊び、シニア世代が当時の話をして和やかな三世代交流が見られた。 ・地域の方がチラシを見て来場され、地域交流の場になった。 ・出店者同士が協力して開催できた。 ・出店者同士・地域住民同士・出店者と地域との繋がりがづくりに貢献できた。 				
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>ひと・コト・モノのご縁をつなぎ、あらゆる世代の活躍の場、アートやものづくりの発表の場をつくります。三世代交流のイベントをとおして、心がふれあえる、にぎわいの場をつくり、地域を元気にするまちづくりに取り組みます。また、各務原の魅力を広く発信し、他県市町のみなさんを集客できるイベントを目指しています。</p>				



NO.9	団体名	清住町ふるさと創生会		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 防犯パトロール活動事業			
事業概要	閑静で犯罪のない町を確保し、安心して暮らせる生活環境を創り出すため 防犯パトロール活動を行う。			
事業費総額	112,261 円	助成金額	67,000 円	
主な経費内容	赤色バトン、メガホン、LED懐中電灯、警笛、防犯パトロールプレート、防犯ジャケット、乾電池、ファイル、インクカートリッジ、オフィスペーパー、カイロ、ボランティア保険			

●実施内容

①防犯パトロール

毎月第1日曜日 11:00~12:00(計 12 回)

臨時 夏休み 8/3 19:00~20:00

- ・町内の方や見知らぬ人への声掛け、子供の犯罪被害防止のため
子供に声掛けを行った。
- ・パトロールの際には、防犯灯の故障や破損の有無も確認した。



②防犯活動の予備知識の習得

4/25 16:00~17:00 清住町公民館1階大ホール

参加者 13 人(団体 7 人・子ども会 6 人)

内容:小学生の犯罪防止、防犯パトロールの要領

講師:岐阜県防犯協会事務局長代理 江川喜久氏
(安全・安心まちづくりアドバイザー派遣利用)



③登下校時の防犯パトロールと見守り活動

④ちびっこ体験防犯パトロール

8/3 10:30~11:00 清住町第 2 公園外周道路

小学生以下参加者約 30 人

- ・子供たち及び保護者に防犯意識の啓発運動の一環として実施した。



⑤年末夜警

12/27・28 20:00~21:00 清住町内 参加者延べ 11 人

- ・年末防犯・防火パトロールを実施。「戸締り用心、火の用心」と拍子木を鳴らしながら呼びかけた。

●成果

①空き家や高齢者の一人住まいが増えた町内で、車上狙いや自転車盗難等の窃盗事案が目立っていたが、4月から防犯パトロールを始めて、町内での窃盗事案の発生なし。

②昼間、高齢者だけが取り残された町内で、見知らぬ人が家を回っていると高齢者にとって不安。パトロール中に声を掛けると笑顔で応えられ、会員の姿を見て安心してもらった。

③パトロール中に会う方に「ご苦労様です。」と言われ、地域住民の方に活動を認知してもらえた。

④パトロール中、路上や民家庭先で短時間の立ち話で防犯活動に理解が得られた。またコミュニケーションが図られ情報交換の場となった。

●団体の活動目的・目標

清住町及び近隣地域の不安全箇所の整備を図り、安全で安心な生活環境を創り出すことを目的としたボランティア団体です。

NO.10	団体名	山崎区屋形保存会		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 鵜沼山崎町伝統文化の継承と地域住民の連携強化事業			
事業概要	古くから伝承されている「祭り囃子」の担い手を増やし、その活動を通じて鵜沼山崎町住民の連携を強化し絆を深める。			
事業費総額	581,421円	助成金額	300,000円	
主な経費内容	練習用CD・DVD、事務消耗品、大太鼓修理代、小太鼓新規購入費、笛購入費、講師謝礼、太鼓練習後の子ども用菓子・飲物代			

●実施内容

- ・設備の充実……大太鼓の皮の張り替え1個、小太鼓購入1個、笛購入6本、練習用DVD50枚
- ・体験会の実施……5/25・6/22・2/22に実施
参加者延べ13人
- ・祭囃子の練習……鵜沼東福祉センター分室で年間20回実施
子ども参加人数:延べ412人
スタッフ参加人数:延べ296人
- ・祭囃子の発表……7/6 夏祭りでの発表 観覧者120人
10/13 秋祭りでの発表 観覧者140人
2/23 春祭りでの発表 観覧者110人



●成果

- ・夏祭りでは、今まで少なかった鵜沼第一小学校区内を時間をかけて回った。祭り囃子の存在は、鵜沼第一小学校区内の古い住民や町内役員を通じて少しずつ広がりを見せている。
- ・子どもの参加者が前年より多くなった結果、その親の参加者が増えたので、地域の大人同士の繋がりが出来て、今まで以上に祭り囃子という伝統文化の認識が広がったと感じている。
- ・体験会において鵜沼第一小学校区から2名の参加者があった。

●団体の活動目的・目標

山崎地区に古くから継承されている、郷土文化である「祭り囃子」の保存と、伝承活動を通して次世代に引き継いでいくことで、地域住民相互の親睦及び連帯感の向上を図り、地域社会に貢献することを目的とする。

NO.11	団体名	人生これから！		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 元気なシニアがいきいき暮らす！プロジェクト事業			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生き方セミナー第2弾として、存在感を高める“元気なシニア”を目指し、「食」「脳」「身体」「人生これから」をキーワードとしたワークショップを開催する。 ・ 最終回は、「定年後の10万時間をどう過ごすか」をテーマにした基調講演後に、実践者をパネリストに迎え体験を共有できるシンポジウムを開催。 ・ 各回のレポートを冊子にして、全参加者に進呈(郵送)する。 			
事業費総額	576,708円	助成金額	300,000円	
主な経費内容	講師謝礼、チラシ印刷代、冊子印刷代、講座材料費、事務消耗品費、資料郵送費、音響設備レンタル代、会場使用料、チラシ・冊子デザイン料、チラシの新聞折り込み料、茶菓子代、ボランティア謝金			

●実施内容

- ・ 5/19「作ってみよう！薬膳料理」開催・・・総合福祉会館料理教室、参加者 24人
- ・ 7/14「ゆる体操で活力アップ！」開催・・・総合福祉会館遊戯室、参加者 36人
- ・ 10/20「生演奏をバックにみんなで歌おう！」開催・・・皆楽座、参加者 66人
- ・ 1/19「人生これから！シンポジウム」開催・・・総合福祉会館集会室、参加者 60人
- ・ 3/26 冊子「人生これから！NOTE」の編集、参加者へ進呈 200部



●成果

薬膳料理 参加者から「今まで意識していなかったけれど、これからは身体によい物を食べるようにしようと思いました」などの声が聞かれ、食を通じての健康を意識してもらうきっかけ作りとなった。

ゆる体操 講座を受け、実際に身体の不調が改善された体験をしたり、講師の話を聞いて、自分の身体は自身で整えるという意識を持つきっかけとなった。

みんなで歌おう 「昔を思い出して若返った気分です。」「生演奏っていいですね。」などの声があった。普段なかなかない「生演奏で歌う」体験が良い気分転換になったようで、参加者は生き生きとした表情で会場を後にした。

シンポジウム 「これからの人生を考えるヒントになった」などの感想があり、参加者がこれからの人生を前向きにどう生きるか、と考えるきっかけ作りができた。

冊子 「楽しい内容がわかりやすく書いてあり、毎日の生活に取り入れやすいと思います。これから少しずつ実行していきます。」と感想をいただいた。いきいきと暮らすための、持続的に取り組みやすい情報を提供できたのでは、と感じた。

●団体の活動目的・目標

子育てを終えた方、または定年や転機を迎えたシニア世代は、第二の人生をスタートさせます。これからの人生をどう組み立てていくのかを中心に、人生のエンディングを考えたり、これからの人生を自分らしく生きることを活動の大きな柱とし、同時に目的としている。

NO.12	団体名	みんなのいえつなぐ		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 地域で子育て応援フェスティバル事業			
事業概要	<p>母児同士や母児と地域がつながることができる場づくりを行う。その活動を通し、子育てに関わる行政・団体がつながることができる機会を作る。そのために、未就園児を持つ親子が幸せを感じ、笑顔になれるような子育て講演会や親子コンサートを開催する。講演会やコンサート当日は、各務原市の子育てに関りのある行政、地域で活躍する NPO 団体や市民団体、企業と協働で子育て応援マルシェを開催する。開催にあたり、事業の企画や運営のサポーターとして母子で携わることができるようにする。</p>			
事業費総額	546,688 円	助成金額	250,000 円	
主な経費内容	<p>コンサート講演料、ワークショップ講師代、講演会講師代、グラフィックファシリテーター報酬費、チラシ印刷代、「つながる冊子」印刷代、会場装飾消耗品、ボランティア保険料、会場使用料、看板製作委託料、チラシデザイン委託料、弁当・お茶・お菓子代</p>			
<p>●実施内容</p> <p>1. みんなで子育て応援フェスティバル「育フェス」を2回実施した。</p> <p>(1) 子育てコンサート、子育て応援マルシェの開催 8/31 10:00～15:30 あすかホール ・育フェス会議(事前会議)4回 (グラフィックファシリテーション 会議 3 回+当日1回) ・当日参加者 500 人(大人 230 人・子ども 270 人)</p> <p>(2) 子育て講演会・コンサート、子育て応援マルシェの開催 12/15 10:00～15:30 あすかホール ・育フェス会議 3回 (グラフィックファシリテーション 会議1回+当日1回) ・当日参加者 280 人(大人 127 人・子ども 153 人)</p> <p>2. 子育て支援ハンドブックを制作、配布した。 掲載団体 30 団体、配布部数 400 部</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>				
<p>●成果</p> <p>母児同士や母児と地域がつながることができる場づくりとして、地域で子育て応援フェスティバル「育フェス」を実施し企画運営から母子がサポーターとして関わられるようにした。</p> <p>サポーターのアンケートでは「サポーター同士のつながりができた」「子どもを皆で見合うことで子育てを助けてもらえる安心感が得られた。」などの意見があり、母児同士や子育て支援者とのつながりができたこと、様々な情報が得られたことで、母児の孤立を軽減し育児のストレスを軽減することにも役立った。</p>				
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>乳幼児の子を持つ親子が集える居場所を提供することで、母児の孤立化を軽減し、そこに集う人たちが交流することを通して、共に育ち合える関係作りを支えることを目的とする。</p>				

NO.13	団体名	つくろ!の会		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 病に負けない元気なところとからだ作り事業			
事業概要	暮らしを通して家庭の健全育成、地域とのつながり、絆づくり、元気なところとからだ作りを発信しています。			
事業費総額	1,134,917円	助成金額	300,000円	
主な経費内容	講師料、講師交通費・宿泊費、チラシ印刷費、ワークショップ食材、資料代、種・苗代、資料郵送代、保健所収入印紙、会場使用料、チラシデザイン委託料、資料作成委託料、スチール台車、映画上映料、弁当・お茶代、ボランティアスタッフ謝金			

●実施内容

1. 「元気なところとからだをつくるために」講演会実施。テーマ:「大自然の生命力と繋がる食生活」

【日時・場所】6/1 13:30~15:30 文化ホール 【参加者】301人 【講師】吉田俊道

2. 家庭からの生ゴミを減らすためのダンボールコンポスト講座

【日時・場所】5/23 10:00~12:00 蘇原コミュニティセンターそらーら

【参加者】14人 【講師】NPO 法人リサイクルロンド 豊永利香

3. 春夏野菜・秋冬野菜の植え付けを実施。苗は就労支援が必要な団体に依頼した。

【日時・場所】5/17 10:00~12:00 畑 【参加者】15人

【日時・場所】9/13 10:00~12:00 畑 【参加者】15人(大人10人・子5人)

4. 収穫祭を実施。植え付けをした野菜を収穫し、野菜バーベキューをしていただいた。

【日時・場所】8/7 11:00~14:00 畑 【参加者】37人(大人13人・子ども19人)

5. 重ね煮料理講座

基本の重ね煮2種類を作っていた。

【日時・場所】9/18 10:00~14:00 総合福祉会館調理室

【参加者】42人(大人25人・子ども17人)

6. 「元気なところとからだを育むためのシンポジウム」実施

映画「いただきます」上映会、吉田俊道氏、船越康弘氏の講演・コラボトークイベントを実施。

ホワイエでは、「弁当の日」パネル展示、自然派食品等のマルシェを行った。

【日時・場所】11/26 9:30~15:30 各務原市民会館大ホール・ホワイエ

【参加者】431人(他、子ども多数) 【講師】船越康弘・吉田俊道

7. 味噌作り

手前味噌の作り方を、武芸川の農家である田下さんより教わった。

【日時・場所】1/23 10:00~12:00 各務原市総合福祉会館料理室

【参加者】37人(大人20人・子ども17人) 【講師】田下喜代

8. 振り返り会・シェア会(6/27、7/11、12/12 計3回 延べ31人)



●成果

母子同士のつながりの幅が広がった。この活動において知り合えた者同士で持ち寄りのランチ交流会を行っており、これまで一人で育児の悩みを抱えていた母親や、孤立していた母子の数が減ったのでは、と推測できる。“循環型社会のロールモデル”として一石を投じ、市内外問わず育児の孤立の軽減につながった。

自分たちで土を触って野菜を作り、近所の農家さんの野菜等を使つての調理活動では、「普段、家で一人でご飯を作っていたが、みんなで作るとあつという間に作れて、おしゃべりもできて楽しかった」という声が多く得られた。重ね煮の会での“家庭でも取り入れられるか?”というアンケートの問いに対し参加者の100%がYESと回答した。

事業を機に家庭でプランター菜園を取り入れ始めたケースも多く、今後もサポートを続ける。

シンポジウムの後からSDGsを意識する人が増え、活動内外の会話の中でも自然とSDGsの内容に関連した会話が頻繁に出るようになった。CO₂削減、マイクロプラスチック削減の意識が向上した。食品ロスに対する意識にも変化が見られた。

日々の家庭、育児の悩みから、どんな未来を選択し子どもに託すかなど様々な話題を笑い声を交えながら、学び深め合えるコミュニティが構築されつつあると実感している。

●団体の活動目的・目標

家庭の健全育成。地域とのつながり、絆づくり、元気な身体と心作り。循環型社会のロールモデルとなる活動を目的とする。

NO.14	団体名	松が丘ゆったりクラブ		
助成金種類 事業名	スタート助成<2年目> こころとからだの安らぎをサポートする事業			
事業概要	「こころとからだの安らぎ」のサポートを通して、地域の活性化を目指す。平日日中在宅者、高齢者を中心に、気楽に参加できる雑談の場所「ゆったりカフェ」を月1回2時間程度、地域のコミュニティセンターで開設する。			
事業費総額	54,185 円	助成金額	13,000 円	
主な経費内容	講師料、珈琲講座材料、プリンタインク、コピー用紙、会場使用料、懇談用茶菓子代			
<p>●実施内容</p> <p>毎月第4木曜 13:30~15:30 松が丘コミュニティセンターで「ゆったりカフェ」を開催(計11回)。</p> <p>ゆったりクラブでゆったりしていただくのが目的で、周りの方とおしゃべりをしたり、脳トレゲーム、ダーツをしたり、歌声喫茶風の歌や懐メロを口ずさんだりと、強制することなく時間を過ごしていただいた。</p> <p>そういう中で、おいしい珈琲を各自で淹れることにはこだわった。 10月・1月は珈琲の淹れ方について講師をお願いし、実際に参加された方には、豆をひくところから一人ずつ経験していただき、おいしい珈琲を味わっていただいた。</p> 				
<p>●成果</p> <p>元気なお年寄りでも家にこもりがちの方は多く、そういう方が一人でも多く外出できれば、という思いで活動した。松が丘地域の高齢者は、午前中には、ほぼ毎日活動しているグラウンド・ゴルフや、月1回のボランティアハウスその他があり外出の機会はあるが、午後となると買い物以外にはあまり機会がないので、外出する機会が提供できたのでは、と思っている。</p> <p>ゆったりクラブは毎回決まったことをするわけではなく、周りの方とおしゃべりをしたり、懐かしい歌を口ずさんだりして「ゆったり」2時間を過ごしていただける機会を提供できたことが大きな成果であり、地域活性化の一助である。</p>				
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>地域の人たちのこころとからだの安らぎをサポートすることを目的に、現役の仕事を引退した地域住民を中心に設立した。</p>				

NO.15	団体名	中山道間の宿 新加納まちづくり会		
助成金種類 事業名		まちづくり助成<2年目> 新加納地区の文化・歴史遺産を次世代に継承する事業		
事業概要		地域の子供からお年寄りまでの各世代が気軽に参加でき、新加納地区の文化・歴史遺産を学習できるイベントとして新加納地区ふれあいセンターで歴史パネル展及び歴史講演会を開催する。		
事業費総額		364,886 円	助成金額	120,000 円
主な経費内容		先進地視察・見学旅費、かわら版印刷代、事務消耗品代、歴史パネル製作代		
<p>●実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史パネルの作成 【内容】新加納陣屋公園に展示する歴史パネル 10 枚を作成した。 2. 先進地視察 【日時・場所】11/15～16 石川県野々市市、安宅閣など 【参加人数】6 人 【内容】野々市市役所を訪問し、新加納陣屋の旗本であった坪内氏の先祖、富樫氏に関わる野々市市中央公園「ののいち椿館」、野々市市ふるさと歴史館等を案内していただいた。 3. かわら版発行 【内容】A3 サイズのかわら版 1000 枚/回を、12 月・3 月の計 2 回、新加納全世帯に配布した。（「広報かかみがはら」の配布に合わせて配布していただけるよう、自治会に交付した。） 4. 歴史パネル展・歴史講演会 【日時・場所】10/14 13:00～15:00 新加納地区ふれあいセンター 【参加人数】50 人 【内容】新加納の歴史紹介と共に、歴史パネル展示を行った。 5. 歴史パネル展・民話伝承会 【日時・場所】2/22 13:00～14:00 新加納地区ふれあいセンター 【参加人数】90 人 【内容】浜見町・日吉町の子供会との「民話伝承会」で子ども向けゲームとパネル展示を行った。 				
<p>●成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史パネル展では、自分たちの住んでいる新加納の歴史を学ぶことができ、子供たちに地域の文化や歴史を伝えていくための良い機会になった。 ・かわら版には地域情報、話題を取り入れてお年寄りから子どもまで読みやすい工夫をしており、新加納地域での住民のコミュニケーション活性化に役立っている。 ・先進地視察は、歴史パネルの新しいテーマについて大変参考になった。 ・時期の変更はあったものの、計画した予定は順調に推移し、時々課題については解決することができた。今後は新たな問題及び課題が発生の都度、解決に向け対策を講じていく。 				
<p>●団体の活動目的・目標</p> <p>文化的で歴史的な趣のある安心・安全のまちとしての新加納地区の文化・歴史遺産を次の世代に、学習し継承していくことを目的に、主に地域の有志が中心となって設立した。</p>				



NO.16	団体名	各務原市全国まちおこし映画祭実行委員会		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<2年目> 監督はキミだ！各務原市の魅力を再発見☆わくわく映画制作ワークショップ事業			
事業費総額	470,280 円	助成金額	150,000 円	
主な経費内容	募集チラシ、上映会チラシ、参加者Tシャツ作成、作品DVD作成、事務消耗品費、撮影機材レンタル料、会場費、編集作業費、メイキング動画作成費、チラシデザイン委託費			

●実施内容

・映画制作ワークショップの実施

ワークショップ参加者 20 人(小学生以上 19 人)が 2 チームに分かれ、7 回実施。
2 本の短編まちおこし映画を作成した。

【Aチーム】「Memories」・・・ 瞑想の森・陵南福祉センター・各務原市役所で撮影
【Bチーム】「ミライノカタチ」・・・ 苧ヶ瀬池・(有)由ホーム美濃加茂モデルハウスで撮影



・完成披露上映会の実施

2/23 13:30~15:30 陵南福祉センター

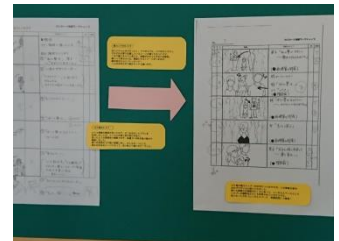
令和元年度参加者・平成 30 年度参加者・団体サポートスタッフにて実施。

会場では、映画制作に使われた小物や資料を展示した。

上映作品は 2 年間で作成した映画計 4 本に加え、メイキング動画を上映。

後半はスタッフ・キャストによるトークセッションを実施した。

観覧者 65 人が来場した。



●成果

・参加した市民が一から映画制作に関わることにより、「わたし達の住むまち各務原」の魅力を再認識や新たな発見によって郷土愛を育むことができ、団結心と新しい事に挑戦する楽しみが生まれた。

・年齢・性別をこえたチームでの映画制作は、世代を超えた交流の場となり、映画の枠を超えた相乗効果が生まれた。

・完成披露上映会では、ワークショップ参加者による「舞台挨拶」、「映画制作にまつわるトークセッション」を行って映画制作によって得られた体験や作品への思いを語ってもらい、日常生活では経験できない体験が提供できた。

・完成した映画を観てもらうことにより、市内外の多くの方々に各務原市の魅力(場所・ひと・物)を知ってもらうことができた。また、令和 2 年度に岐阜市で開催される「MKE映画祭」において、Aチームの「Memories」が上映作品に選ばれた。

●団体の活動目的・目標

地域活性化の一環として、「まちおこし映画」の制作・上映活動を実施し、映像文化によるプロモーション活動と地域の魅力を再発見を行うとともに、世代間を超えた交流の機会を提供する。

令和2年度交付事業

※新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止対策の影響により、変更・中止になる可能性があります。

スタート助成1年目（NO. 1～3）			
No	事業名	分野	団体名
1	日本語教室事業	国際協力	グローバルファミリー
2	体験型避難所運営訓練事業	地域安全	つつじが丘自主防災会
3	各務原市に住む外国人児童と保護者へのゆるやかな教育支援事業	国際協力	国境なきレクリエーション
まちづくり助成1年目（NO. 4～5）			
4	音楽会『芸術に触れる一子どもたちの感性を磨く』事業	芸術振興	NPO団体各務原まちづくり
5	夏祭りプロジェクト事業	まちづくりの推進	雄飛地区まちづくり委員会

スタート助成2年目（NO. 6～9）			
No	事業名	分野	団体名
6	高齢者を対象にしたラジオ体操指導普及活動事業	スポーツ振興 保健・医療・福祉の増進	各務原市ラジオ体操連盟 健康増進部会
7	世代間交流ワークショップ事業	まちづくりの推進 芸術振興	リョクエンナーレ実行委員会
8	災害時に備えた炊き出し訓練事業	災害救援 地域安全	鵜沼南町自主防災組織
9	親子でLet'sアウトドア！事業	子どもの健全育成 社会教育の推進	みっぱらキッズ
まちづくり助成2年目（NO. 10～13）			
No	事業名	分野	団体名
10	防犯パトロール活動事業	地域安全	清住町ふるさと創生会
11	病に負けない元気なところからだ作り事業	環境の保全 子どもの健全育成	つくろ！の会
12	鵜沼山崎町伝統文化の継承と地域住民の連携強化事業	文化振興 まちづくりの推進	山崎区屋形保存会
13	地域で子育て応援フェスティバル事業	保健・医療・福祉の増進 子どもの健全育成	みんなのいえつなぐ